

平成 22 年 度

安城市の教育

安城市教育委員会

平成22年9月発行 170部

平成22年度

安 城 市 の 教 育

編集・発行 安城市教育委員会
〒 446-8501
安城市桜町18番23号
電話 (0566) 71-2253(直)
(0566) 76-1111(代)
FAX (0566) 77-0001

本文には、グリーン購入法の総合評価指標に基づく評価値70以上の紙を使用しています。

安城市民憲章

(昭和47年制定)

わたくしたちは安城市民です。
わたくしたちの愛する安城を、いっそう魅力にみちた
生きがいのあるまちにするため、市民生活の心がまえとして、
この憲章を定めます。

わたくしたちは、

- *たがいに助け合い、住みよいまちをつくりましょう。
- *きまりを守り、良い習慣を育てましょう。
- *自然を愛し、きれいな水とみどりのまちをつくりましょう。
- *教養を高め、若い力を育てましょう。
- *健康で、明るく楽しい家庭をつくりましょう。

青少年をすこやかにはぐくむ都市宣言

(昭和57年6月8日)
議 決

あすの安城市を築く青少年が、豊かな情操と正しい社会性を持ち、心身共にたくましく育つことは、市民すべての願いである。

この願いを実現するため、市民ひとりひとりが姿勢を正し、青少年をとりまく環境及び諸問題への関心と認識を深め、相互の連帯を強めることによって、青少年が情熱と自覚と責任を持って行動できるよう見守っていく必要がある。

ここに市民の総力を結集し、次代を担う青少年の健全育成をめざし、安城市を「青少年をすこやかにはぐくむ都市」とすることを宣言する。

市 章



(昭和35年に制定)

安城の「安」を圖案化したもので、下部を末広がりにし発展を象徴、丸く囲んだのは円満・和を象徴しています。

市 の 木 (クロマツ)



市民投票
昭和47年に制定

かつての安城ヶ原は、小松の原野であり、現在の安城の緑の主体となっています。旧東海道の松並木は、400年の歴史を秘めて、市の文化財に指定されています。

市 の 花 (サルビア)



市民投票
昭和47年に制定

だれにでも作りやすく、家庭や学校の花壇に多く栽培され市民に親しまれています。夏から秋にかけて燃えるような赤い花をつけ、躍進著しい安城をしのばせます。

シンボルマーク



公募
平成4年に制定

安城の頭文字「A」を圖案化したもので、青と緑の2色。未来に向かった大空と大地をイメージし、調和と力強い発展を表現しています。

はじめに

第7次安城市総合計画「市民とともに育む環境首都・安城」は、策定から6年目を迎え、本年度は中間年として計画の見直しの時期を迎えております。ここまで教育文化の分野では、「個性と文化を育む環境づくり」を基本目標に、「生涯学習」「青少年、成人・高齢者」「学校教育」「文化・芸術」「スポーツ」の各分野を柱とした取り組みを進めてまいりました。それぞれの基本成果指標に示されている目標値について、現状の姿と重ねながら丁寧に検証していくなかで、課題をはっきりさせ、折り返し点を過ぎた後半の計画を再検討していきたいと考えております。

近年、社会の変化に伴い、時間的なゆとりが生まれ、健康や精神的な豊かさを求める志向が高まっています。それに伴い、文化や教養を高めたり、心身の健康を保持したりする機会や場がより必要になっています。その一方で、人と人とのつながりの希薄化が問題視される今の社会状況においては、世代を越えて人と人がつながることのできる環境を作っていくことも大切であると考えます。ここ5年間の教育関係諸施設の利用状況からは、安城市の各世代の皆様の生涯学習への関心や期待の高まりを感じるとともに、それに応えるべく確かな成果を感じています。

また、学校教育に関わる面では、大きく2つの点において充実を図るとともに、その成果をあげてきました。一点目は、将来の安城を担う子どもたちの健やかな成長を願い、安城市独自の少人数学級の導入、外国人児童生徒のための通訳の充実、特別支援教育補助員の配置など、子どもたち一人一人へのきめ細かな支援のための整備を進めてきたことであります。2点目は、全小学校へのスクールヘルパーの配置やスクールガードの組織整備、全小学校の門扉とフェンスの設置、全小中学校の建造物の耐震工事など、安全かつ安心してのびのびと学ぶことのできる環境の整備に力を注いできたことであります。

さらに本年度は、国民読書年であることを機に、中央図書館の開館25周年を記念したイベントを開催するなど、より多くの市民に読書に親しんでもらうための取り組みを進めていきます。その他、より安全で快適な運動施設としての整備をめざして陸上競技場の改修、今後も増加の見込まれる児童生徒数・学級数の増加に対応するために、北部学校給食施設の整備や、作野小学校の校舎増築、安城北中学校の小体育館改築など、ハード面の充実を進めてまいります。

私たちは、将来の安城市を担う子どもたちのために、何をすべきか、何ができるのかを常に問い続け、時代の要請を踏まえながらも翻弄されることなく、その歩みを進めてまいります。そして、これまで安城教育が大切にしてきたよき文化や伝統を継承させるとともに、常に教育の成果や本質を見極め、「地道ではあるが進取の精神に富んだ安城教育」を合い言葉に、本市の特色を生かした教育施策に積極的に取り組んでいきたいと考えております。

ここに、平成22年度版「安城市の教育」を刊行いたしました。この冊子を通して、安城の教育文化に対する一層の理解を深めていただくと同時に、積極的なご支援を賜りますようお願いいたします。

目 次

はじめに

I 安城市の概要	1	(2) 青少年教育	34
II 教育委員会	2	(3) 文化振興	40
1 教育委員会委員	2	(4) 市民憲章の推進	41
2 教育委員会の組織及び事務分掌	3	(5) 社会教育施設・団体等	42
(1) 教育委員会の組織	3	2 公民館	44
(2) 事務分掌	4	(1) 公民館事業の目標	44
3 教育費予算額等の推移	6	(2) 公民館組織	44
(1) 教育費当初予算額の推移	6	(3) 公民館事業	45
(2) 教育費決算額の推移	7	(4) 公民館等施設	49
III 学校教育	8	(5) プラネタリウム	50
1 学校教育の推進	8	(6) 利用状況	51
(1) 教育実践の活動	8	3 安城市民会館	53
(2) 教育センターの活動	17	(1) 市民会館の概要	53
(3) 視聴覚センター	21	(2) 利用状況	53
2 児童生徒と教職員	22	4 図書館	54
(1) 幼・小・中学校児童生徒数	22	(1) 図書館事業の目標	54
(2) 教職員数	24	(2) 中央図書館の施設概要	54
(3) 中学卒業者の状況	25	(3) 蔵書の構成及び冊数	55
(4) 児童生徒数推計	25	(4) 登録者・入館者の状況	55
3 心身の健全育成活動	25	(5) 図書館事業の状況	56
(1) 学校教育関係体育行事	25	5 歴史博物館	58
(2) 学校保健	26	(1) 博物館目標	58
(3) 独立行政法人日本スポーツ振興センター	26	(2) 館蔵資料	58
(4) 生徒指導推進の組織	26	(3) 歴史博物館施設概要	59
4 野外教育活動	27	(4) 利用状況	60
5 就学・奨学制度	28	6 埋蔵文化財センター	61
(1) 奨学金制度	28	(1) 埋蔵文化財センターの概要	61
(2) 私立高等学校等授業料補助	28	(2) 利用状況	61
(3) 就学援助	28	7 市民ギャラリー	62
(4) 特別支援教育就学奨励	29	(1) 市民ギャラリーの概要	62
(5) 幼稚園就園奨励	29	(2) 利用状況	63
6 学校施設の設置状況	30	8 丈山苑	64
7 学校給食	31	(1) 丈山苑の概要	64
(1) 学校給食の目標	31	(2) 利用状況	65
(2) 学校給食の組織	31	9 文化財保護事業	66
(3) 調理場施設及び調理数	32	(1) 文化財保護目標	66
(4) 給食実施計画	32	(2) 指定文化財	66
(5) 食に関する指導	32	10 史料整理活用事業	67
(6) 給食費の推移	33	(1) 収集・保存活動	67
(7) 給食内容	33	(2) 緊急雇用創出基金事業	67
(8) アレルギー対策	33	(3) 教育普及活動	67
IV 生涯学習	34	11 社会体育	68
1 生涯学習	34	(1) 社会体育の目標	68
(1) 生涯学習の目標	34	(2) マイスports運動の推進	68
		(3) 競技スポーツの振興	72
		(4) 指導者の養成と研修	73

(5) スポーツ団体の育成と相互理解	74
(6) スポーツ施設の効率的利用 と整備充実	75
(7) 計画の評価と推進体制の整備	75
(8) 体育施設	77
(9) 利用状況	79

付 録

1 歴代の教育委員	80
2 教育委員会の沿革	82
3 教育関係施設・休館日一覧	88
4 安城市施設管理協会	90